

一般質問発言通告書

議席番号 22 番

氏名 牛尾 昭

答弁を求めるもの 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
(○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 水産業振興の要の漁船漁業等について

(1) 船団への事業承継について

8月15日に底引き網漁船3ヶ統が出漁した。前期より1ヶ統減で、水揚げ減が心配される。また、1ヶ統が帰りに事故を起こしたので、心配である。3ヶ統になり、鮮魚や加工原魚不足を業者が心配している。そこで伺うが、撤退した船団に事業承継の話はないのか。市として動かれていると思うが、現状を問う。

(2) 新船建造について

現船団3ヶ統の内、2ヶ統は新船に移行したが、残りの1ヶ統についての予定はどのようなのか問う。

(3) 誘致企業への支援策の申送りについて

(株)三陽は、自社の船を直接接岸されると聞いている。市長が代わる事で、誘致の条件が変更されては困るが、どの様に担保され、申送りされようとしているのか問う。

2 水田農業について

(1) 来年度廃止になる集落機能加算について

昨年の国会で、我が党の石破総理は「農地や農家の減少は国が減ぶ道だ」と述べたが、中山間地域に及ぼす影響を問う。

(2) 乾田直播について

高温少雨やダム渇水など、天候異変が世界に広がっている。食料安保のためには、多様な水稻栽培方法が求められる。政府は2027年度に、乾田直播に対して補助金による普及支援をするそうである。浜田市も取り組むべきと思うが見解を問う。

(3) 今年度の小規模農家支援策について

農家を歩くと有難いという声をよく聞く。その中で、親子で水稻栽培をしているが、息子は若い、田んぼが親の名義なので支援策の上乗せを受けられない。今年は、耕作面積を増やしたいのだが、何とかならないかという相談があったが見解を問う。

3 道の駅ゆうひパーク浜田について

先般、プレゼンの説明を受けたが、入口のインフォメーションをなくして、コンビニを配置するなど、産業建設委員会の総意と相反している。また、夕日百選を生かしたアイデアもなく市民の意見を無視している。市への納付金についても少額で話にならない。プロポーザル審査の整合性を問う。

発言No. 2

受付No. 10

令和 7 年 8 月 22 日

10 時 44 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 1 番

氏名 肥後 孝俊

答弁を求める者

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

奇しくも私の任期は「第 2 次浜田市総合振興計画 後期基本計画」の期間と重なり、この計画は「若者が暮らしたいまちづくり」を最重要の柱に据え、人口減少問題に対応すると宣言された。検証を踏まえ、以下質問する。

1. 人口減少対策について

若者定住につながる一手として、市内での雇用が維持できなければならないとの思いで以下質問する。

- ① 若者定住対策の現状について伺う。
- ② 若者定住につながる市内での雇用対策について伺う。

2. 産業振興策について

- ① 浜田港の老朽化した燃料給油船の現状について伺う。
- ② 令和 6 年 3 月定例会議で「指定野菜に 50 年ぶりに追加されたブロッコリーの市内生産量の現状と今後」について伺ったが、その後の生産状況について伺う。

3. 共に生きる社会の実現に向けた地域福祉の推進について

本市には「島根あさひ社会復帰促進センター」という、全国でも先進的な官民協働の施設が存在する。このセンターは、単なる刑事施設ではなく「地域との共生」を基本方針に掲げている。現状を把握するため以下質問する。

- ① 島根あさひ社会復帰促進センターとの現在の連携状況について伺う。
- ② 知的・発達障がい等を抱える人向けの福祉的支援の網から外れる方が再犯につながらないような支援について伺う。

一般質問発言通告書

議席番号 7 番

氏名 村武 まゆみ

答弁を求める者
(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. 浜田市こども計画について

策定された浜田市こども計画の中にある具体的な施策の進捗について伺う。

(1) こどもの権利について

- ① こどもの権利の取組について、まずは市職員を対象に庁内研修を行うということで、R7年3月定例会議一般質問の際の答弁で、基本的な研修を実施し、こどもの権利について理解が深まったという職員もいたということだった。その後の職員を対象にしたこどもの権利についての研修の実施について伺う。
- ② こどもの権利意識普及啓発について、こどもの権利に関する理解を深めるための取組を行うとある。進捗状況について伺う。
- ③ こどもの権利条例策定についての検討を行うとあるが、現状について伺う。
- ④ こどもの意見を聴くための体制の構築に向けた取組を行うとあるが、現状について伺う。

(2) 乳幼児期の育ちについて

- ① こども計画には、子どもの育ちの中で、愛着の形成と豊かな遊びの体験が重要であり、これらが生涯にわたるウェルビーイング向上の土台をつくるとある。そのためにも子育て講演会や講習会など保護者等の学びは非常に大切である。子育て支援センターにて実施しているが、現状について伺う。
- ② 幼児教育センターは今年で3年目となった。3年目の取組について伺う。
- ③ 障がい児保育の充実について、保育施設に対して支援を行い、充実に努めるとあるが、現状について伺う。

(3) こどもの居場所について

- ① 放課後児童クラブの充実について、質の向上の観点から民間委託を進めるとあるが、今後の計画について伺う。
- ② 地域全体でこどもの視点に立った多様な居場所づくりが行われるために、地域におけるこどもの居場所づくりの支援体制の構築等に必要なこどもの居場所づくりコーディネーターの配置を検討するとあるが、検討状況について伺う。

以上

発言No. 4

受付No. 3

令和7年8月21日

9時16分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 14 番

氏名 布施 賢司

答弁を求める者

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1：石見神楽の伝承と企業支援の可能性

(1) 市長が任期中に石見神楽を見てきた課題と評価について

- ① 市長はこれまでの任期中の中で、石見神楽という文化の意義、そしてその継承において直面された課題をどう思われているのか、総括的な認識を伺う。

(2) 企業・団体による支援の可能性について

- ① 近年、地域文化を持続可能な形で支えるために、行政だけでなく企業や団体の力を活用する動きが全国各地でみられる。例えば宮崎県では「神楽サポーター制度」という枠組みの中で、企業が休暇制度を活用して神楽を支援したり、資金や人材を提供して地域行事を継続可能にする取組が進められている。この先進地での取組について所見を伺う。
- ② 本市においても、石見神楽を支える企業や団体との連携を、より積極的に仕組み化する必要があると考えるが、市長は企業・団体がこの地域文化を支える主体として関わることへの意義、そしてその必要性について、どのように考えているか、所見を伺う。

(3) 行政による今後の継続的な支援体制について

- ① 今後の市政において、石見神楽の伝承を支援する行政の体制整備、そして企業・団体と連携した新たな制度設計の必要性について、市長として考えがあれば、ぜひ後任への引継や提言という形でお聞かせ願う。

一般質問発言通告書

議席番号 9 番

氏名 柳楽 真智子

答弁を求める者

(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. 行政の情報発信について

(1) デジタルの活用について

- ①現在、浜田市では市民への情報発信をどのように行われているか問う。
- ②行政の情報発信にデジタルを活用することのメリット・デメリットについて問う。
- ③浜田市でも公式LINEによる情報発信を行っているが、テーマ別に複数の公式アカウントで運用されている。1つに統合しない理由を問う。
- ④これまでデジタル活用によるアンケート調査の実施は行われたか問う。

(2) 紙媒体の活用について

- ①デジタルの活用が難しい人にとっては、紙媒体も必要である。紙媒体の場合、情報の更新が即時には行えない。この問題への対応はどのように行われているのか。
- ②デジタルと紙媒体の情報発信に係るコストについて問う。

2. 石見神楽の振興について

(1) 大阪・関西万博石見神楽公演の生かし方について

- ①公演後の見送りの際にも観覧者から、浜田のどこで見られるのか、ホテルはあるのか、他の観光は何かあるのかなどの問合せがあった。興味を持っていただいたということである。大阪・関西万博石見神楽公演から2か月半が経過したが、大盛況だったこの公演の影響を生かすため、どのように取り組んでいるのか問う。

(2) 石見神楽の文化財指定について

- ①現在、石見神楽の文化財指定の状況を問う。
- ②浜田市が発祥の地と言われている石見神楽そのものが、文化財指定されていない理由を問う。
- ③文化財指定を受けることで得られるメリットについて問う。
- ④石見神楽の振興に市・県・国の文化財指定は必要と考える。将来、ユネスコ無形文化遺産登録を視野に入れるためにも、それぞれの指定に向けて取組を進める考えがあるのか問う。

発言No. 6

受付No. 8

令和7年8月22日

10時28分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 20 番 氏名 西田清久

答弁を求める者 ☒ 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
(○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 久保田市政12年間の振り返りと浜田市の目指す未来像について

- ① 久保田市長就任時、人口減少対策を最重要課題に挙げられていた。
あらゆる手を打って来られたが、振り返っての所見を伺う。
- ② 浜田市の産業振興にも注力されたが、将来的に伸びしろが期待できる産業分野について市長の所見を伺う。
- ③ 少子化が進む中で、若手人材は貴重な財産である。
地方公務員のみならず、様々な分野の職場環境においても若手人材の離職率が増加傾向にある。その主な要因について市長の所見を伺う。

発言No.

7

受付 NO. 1

令和 7 年 8 月 6 日

2 時 49 分 受 付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 15 番

氏名 岡 本 正 友

答弁を求める者

(口をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員長

発言項目及び要旨

1. 久保田市政 3 期 12 年の総括と市長の想いについて

- ①市長として在任の 12 年間、市政運営に取り組まれてきたが、最も印象深い取組や達成感を感じた施策は何かを伺う。
- ②一方で、任期中に果たせ得なかった課題について伺う。
- ③後任に託す想いがあれば伺う。

2. 雲雀丘小学校跡地の利活用方針と今後の方向性について

- ①雲雀丘小学校の統廃合から数年が経過したが、廃校施設の利用が極めて限定的であり、地域から再び多様な用途での利活用を求める声が上がっている。利活用についての基本方針はあるのか伺う。
- ②現在の制限の背景(建築基準法・消防法・都市計画法等)に対する市の対応方針について伺う。
- ③将来的に公共施設や地域拠点としての再整備・用途変更を進める考えはあるのか、市長としての考えを伺う。

3. 市政の継承にあたり、今後の市政運営における重要課題について

- ① 少子高齢化、地域コミュニティの希薄化、財政の持続可能性など、多くの課題が残るなかで、次期の市政に向けて、特に重要と考える政策課題とその方向性について所見を伺う。

発言No. 9

受付No. 7

令和7年8月22日

10時9分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 16番

氏名 芦谷英夫

答弁を求める者
(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1、まち・ひと・しごと創生総合戦略の今までとこれからについて

- ①まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、これにより人口減少を食い止める、出生数・UIターンを増やす、浜田市の元気をつくる、と進めてきたが、人口の状況は目標に対してどのような状況にあり、それをどう評価しているのか。
- ②いま久保田市政で事業化を進め、または進めようとしている、プロジェクトや事業のうち、この先必ず成果が上がる、是非、成果を上げてほしいと考えているものは、どのようなものか。

2、協働のまちづくり推進、中山間地域の振興について

- ①「協働のまちづくりの推進について」の提言で(5)地域協議会のあり方についてで踏み込んで提言しているが、それに対する所見とその後の検討状況はどうなっているのか。
- ②中山間地域直接支払制度、多面的機能支払交付金事業などを実施してきて、どのように限界集落における活動状況のスリム化、中山間地域の振興につながってきているのか。

3、浜田市の国際化施策の推進について

- ①4つの国や都市と友好都市協定を結んでおり、協定を結んだ主体者としての責任があるが、合併21年目に入り、協定を結んだ市としてこれからどのようにしていく考えか。
- ②友好都市とは、自治体が率先して訪問団を派遣する、このようなことが必要であったと思うが、合併20年を終えるにあたり、これからどのように考えているのか。

4、市民生活の支援について

- ①生活困窮者自立支援制度として、あんしん生活相談窓口を社会福祉協議会に委託しているが、相談件数など業務の状況をどのようにとらえていて、その件数などから生活困窮者自立支援の推進についてどう評価しているのか。
- ②生活保護基準引き下げが違法である、との最高裁判決が出たが、これによる浜田市の生活保護受給者への支給額への影響額は、いくらであると見込んでいるのか。

5、浜田市の歴史文化の推進について

- ①浜田市誌編纂作業が進められ、合併して20年を経て、発刊する市誌の概要、全体の構成、その計画などはどのようになっているのか。
- ②浜田市の文化について、浜田市の文化推進の状況を捉える方法として、文化協会会員数があげられるが、会員数はどのように推移していてそれをどう評価しているのか。
- ③石見神楽はまさに浜田市の文化そのものであり、それをしっかり発信する、石見神楽の基盤をつくる、石見神楽振興の体制をつくる必要があるが、社中連絡協議会への全社中の参加、社中連絡協議会の法人化など、どのように考えているのか。

6、浜田市のスポーツの振興について

- ①体育協会参加の競技団体、各競技団体の構成員などは、どのように推移していて、どのように評価しているのか
- ②市のスポーツへの取組、市民のスポーツへの参加は、どのようになっているいて、どのように評価しているのか。
- ③令和12年開催の国民スポーツ大会に向けた競技場の整備、実行委員会の設置、競技団体など関係団体の組織化などはどのような状況にあるのか。

—以上—

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 3 番 氏名 大 谷 学

答弁を求める者
(○をつける)

☐市長 ☐教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. 持続可能な財政について

(1) 浜田における6年ぶり路線価の下落について

- ① 令和7年7月2日の新聞報道にあった浜田税務署管内の最高路線価が、5年間続いていた横ばいから1.3%下落に転じ、1㎡あたり7万7000円になったとの状況に対して、どのように受け止めているか、その認識を伺う。

(2) 固定資産税の収入額への影響について

- ① 路線価は公示地価を基準に設定されているようだが、仮に公示地価が平均2%減少することとなったとき、税収の減少額は市全体でどの程度の額になると試算されるか、その認識を伺う。
- ② 自主財源である固定資産税収入等を安定的に維持するためには、民間投資を促すような適切な公共投資を行う必要があると考えるが、その認識を伺う。

2. 幼・小学校における主体的な教育環境の構築について

(1) 「子どもの声でつくる授業という授業改善プラン」の成果と課題について

令和7年3月定例会議における個人一般質問において、小学校では令和2年から、中学校では令和3年から全面実施となっている新しい学習指導要領の遂行に向けた支援状況について伺った。

新しい学習指導要領は「学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等の涵養」「生きて働く知識・技能の習得」「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の養成」を目標として総則に規定され、指導に当たっては、「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善を進め子供たちの力をバランスよく育むことを求めている。

その際の『『主体的・対話的な学び』についてどのような支援をしているのか』の質問に対し、「令和3年に教育委員会で『子どもの声でつくる授業という授業改善プラン』を作成し、各校で推進する体制を整えている」との回答があった。

- ① このプランを活用した「子どもの声でつくる授業」の各小学校での具体的な実施回数を伺う。
- ② どのような子どもの声によって実施されたのかについて具体的な授業の実施内容を伺う。
- ③ 成果をどのように受け止めているか、その認識を伺う
- ④ 今後に向けての課題をどのように受け止めているか、その認識を伺う。

(2) 保育園・幼稚園と小学校との連携体制について

- ① 共通の教育目標等の実現に向け連絡協議会のような体制はどのようなになっているか、その現状を伺う。

- ② 今後の方向性についてその認識を伺う。

3. 学校における安全管理と体制整備について

(1) 雷に対する安全対策について

- ① 雷探知機の各学校の整備状況を伺う。
- ② 対策に向けた講習会等の実施状況を伺う。

一般質問発言通告書

議席番号 21 番 氏名 川神 裕司

答弁を求める者 (○をつける) 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. 地域医療・福祉の充実に対する課題について

(1) 医療人材育成拠点の一つである「准看護学校」閉校に伴う対処策について

本年、地域医療を支えている民間開業医の重要スタッフである「准看護師」の育成機関の廃止が決定し地域医療の推進に大きな影を落としている。この件に関して市長は何とか対処策を講じたいと明言されていたが、現在の考え方はどうか伺う。

(2) 福祉人材確保策としての「シングルペアレント」受入事業の総括について

福祉人材育成・確保は地域の安心を支える介護・福祉の根幹と捉えている。この「シングルペアレント受入事業」は当時の石破茂地方創生担当大臣からも高い評価を受けた先進事例。しかしながら不調に終わったことは残念。市長のこの事業も含め介護福祉施策の総括を問う。

2. 海上自衛隊補給基地誘致活動の検証について

(1) 海上自衛隊補給基地誘致活動の意義について

今まで浜田港振興の観点からも、長きに渡り商工会議所、議会と共に防衛省陳情をはじめ、国県要望を精力的に提出してきた。あらためて誘致に対する意義を明確に示してほしい。

(2) 今までの様々な取組活動に対する検証について

県においても知事からの理解や防衛省訪問時の対応等大きな一歩は踏み出してはいるが、まだ実現に対しての道程は遠いと感じている。現在今までの活動の流れをどう捉えているのか。越えなくてはならない課題は何なのか、市長の検証を伺う。

(3) この事業の継続に対する市長の想いについて

長きにわたる本誘致活動は、多くの市民から支持を得ているものと理解している。市長は後任に対して実現へ向けてのどのようなメッセージを発信されるのか伺う。

3. 石見神楽振興戦略の検証と未来について

(1) 市長の考えた「石見神楽を核としたまちづくり」の意義について

市長就任後、地域の誇りである「石見神楽」の保存・振興に力を注いでこられたと思う。市長にとって石見神楽を核とした地域づくりは浜田市に何をもたらしたと考えるのか、所見を問う。

(2) 今まで神楽振興に対して取り組んできた施策の検証について

神楽振興に対しては、蛇胴文化財指定、後継者育成対策、社中運営支援、情報発信強化等多岐にわたり取り組まれたと評価している。市長として一連の神楽振興施策に対する検証を問う。

(3) 今回高い評価を受けた万博公演がもたらす地域活性化について

今回の大阪・関西大阪万博への55頭の大蛇の演出は世界に大きな衝撃を与えた。併せてオール浜田で参加し一体感が持てたことの意義は大きい。しかし、万博後の観光振興に繋がる戦略と地元で神楽の魅力を伝える環境をどう整備するか課題もある。市長が期待する万博効果に関して伺う。

(4) 市長が考える石見神楽伝承拠点整備に対する課題について

市長が提唱した「石見神楽伝承館」等、情報発信拠点施設の整備に関し、具体的な設置場所の提案やコンセプトの提示が行われてきた。議会においても議論が重ねられ、市民に対する説明不足等の事業遂行のプロセスに問題があるとも指摘され、拠点施設整備に舵は切られていない。神楽振興には多くの方が賛同する中、拠点施設に関しては議論が白熱している。現時点で市長が提唱する「石見神楽伝承拠点施設」推進のための課題はどこにあると考えているか伺う。

(5) これからの石見神楽振興に対するメッセージについて

石見神楽は間違いなく地域再生の大きな柱となると認識している。今後石見神楽の振興戦略をブラッシュアップし積極的に取り組むことが求められているが、そのために神楽関係者、地域住民との価値観の共有が必要と思う。市長は今までの熱い神楽愛を後任に引き継ぐためのメッセージをどう送るのか想いを伺う。

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 11 番

氏名 小川 稔 宏

答弁を求める者

(○をつける)

☒市長 ☐教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 カスタマーハラスメント（以下、カスハラ）対策の現状と課題について

(1) 行政職場におけるカスハラの実態及び現状認識について

- ①迷惑行為、理不尽な要求、悪質クレーム等カスハラ被害の現状について伺う。
- ②本庁・支所業務と他の関連職種全般と比較して傾向や特徴について伺う。
- ③アンケート調査の実施状況とメンタル不調などの健康被害の実態について伺う。

(2) カスハラ防止対策の効果と課題について

- ①過去4年間ににおける保安要員の出勤実績、弁護士等への相談状況について伺う。
- ②電話やメール対応など日常業務における課題への対応状況について伺う。
- ③これまでのカスハラ対策の取組と効果・検証について伺う。

2 改正・労働施策総合推進法への対応について

(1) 改正・労働施策総合推進法に対する市の対応について

- ①改正・労働施策総合推進法への対応方針及び市の対策との関係性について伺う。
- ②実効性のあるカスハラ対策の検討や実施に向けた手法と考え方について伺う。

3 カスハラから働く人たちを守り、カスハラのない社会を目指す取組について

(1) 職員をカスハラ対策から守るための取組の現状について

- ①カスハラ防止対策に対する市のメッセージの明確化について伺う。
- ②サービスを提供する側と受ける側が共に尊重される社会の実現に向け市が重点的に取組むべき課題について伺う。

4 働き手を守るためのカスハラ防止条例の制定について

(1) カスハラ防止対策に不可欠な条例化について

- ①民間事業者のカスハラ対策を支援する取組の充実について伺う。
- ②カスハラ防止条例の有効性と制定のために克服すべき課題について伺う。
- ③条例制定に向けたプロジェクトチーム設置に対する考えについて伺う。

発言No. 12

受付No. 2

令和 7 年 8 月 14 日
9 時 20 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 8 番 氏名 川 上 幾 雄

答弁を求める者 (○をつける) 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 行財政改革について

久保田市長は、6月定例会議最終日に次期市長選への不出馬表明で勇退されることとなりました。12年間に及ぶ久保田市政で、浜田市の行財政改革はどのように進んだか、また、今後に向けての思いを含めて現状を問う。

(1) 12年間行われた行政改革について

- ① 計画されていた行政改革の成果を問う。
- ② 12年間を経て感じられた行政改革の要点を問う。

(2) 12年間行われた財政改革について

- ① 計画されていた財政改革の成果を問う。
- ② 12年間を経て感じられた財政改革の要点を問う。

(3) 12年間行われた行財政改革の市民・職員への影響について

- ① 行財政改革の市民への影響を問う。
- ② 行財政改革の職員への影響を問う。